

県におけるクラウドファンディング型ふるさと納税の導入について

岩手県では、クラウドファンディング型ふるさと納税を導入して、「いわて子どもの森 みずの広場 再生プロジェクト」を行います。

寄付は、12月1日から90日間の予定で、ふるさと納税ポータルサイトである「ふるさとチョイス」で受け付けることとします。目標額は200万円です。

なお、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用による事業の実施は、岩手県としては初の事例となります。

1 趣旨

- ・岩手県立児童館いわて子どもの森は、子どもの健全な発達に重要な役割を担う“遊び”を広く支援するため、開館以来、原則無料（一部の有料施設を除く）で施設を開放。またコロナ禍においても、感染防止対策の徹底のもと、様々な工夫を凝らし子どもの健全な遊びを継続的に支援している。
- ・「みずの広場」は屋外施設であり、コロナ禍においても感染リスクが低く、子どもの自由で健全な遊びの場として重要な位置づけにある貴重な施設であるが、老朽化等により、再整備が必要な状況にある。
- ・このことから、県ふるさと振興総合戦略において推進する子育て支援を、多様な主体が協働して取り組む観点からも、クラウドファンディング型ふるさと納税により寄付を募り、集められた寄付を費用の一部に充当し、みずの広場の再生を図るもの。

2 募集概要等

(1) 募集プロジェクト名

コロナ禍でも、子どもたちが、自由に遊べる場を確保したい

～いわて子どもの森 みずの広場 再生プロジェクト～

(2) 募集期間 令和3年12月1日～令和4年2月28日（90日間）

(3) 目標金額 200万円（令和4年度に実施予定の再整備事業（総事業費約2,000万円）の一部に充当）

(4) 募集方法 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」で募集

【プロジェクトページURL】

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1527>

※12月1日公開開始



※クラウドファンディング型ふるさと納税

ふるさと納税制度を活用し、寄付金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、共感した方々から、民間のふるさと納税ポータルサイト経由で寄付を募る仕組み。